

令和4年7月21日

令和4年度司法修習生採用選考申込者 各位

司法研修所事務局長

司法研修所からのお知らせ

あなたは、司法修習生に採用された場合には、下記第1のとおり、1年の修習期間中、導入修習及び集合修習の期間は司法研修所で修習し（新型コロナウイルス感染症の感染状況により今後変わることがあります。）、分野別実務修習及び選択型実務修習の期間は指定された実務修習地の裁判所、検察庁及び弁護士会（以下「配属庁会」という。）で修習することになります。

については、採用選考申込みに当たり、下記第2から第5までの書類（第5の書類は入寮希望者のみ）を、4ページ及び5ページの「提出書類一覧」の要領に従って令和4年9月13日（火）（消印有効）までに司法研修所に提出してください。

記

第1 修習期間等について

司法修習生として採用後の令和4年11月30日（水）から12月23日（金）まで導入修習が行われ、令和5年1月4日（水）から8月8日（火）まで配属庁会における分野別実務修習が行われます。その後、司法研修所における集合修習と配属庁会における選択型実務修習が、それぞれ約1か月半行われます。この集合修習と選択型実務修習の修習順序は下表のとおり、実務修習地によって異なります。指定された実務修習地における住居の確保は、各自で行うことになっています。

なお、例年、導入修習及び集合修習は司法研修所で実施していますが、第76期司法修習の導入修習及び集合修習については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて司法研修所で実施しない可能性があります。導入修習の実施方

法等については、最高裁判所のホームページ（後記参照）において、遅くとも令和4年9月6日（火）までに掲載する予定ですので、各自で確認してください。

（URL：<https://www.courts.go.jp/saikosai/sihokensyjo/index.html>）

実務修習地	期間	
	令和5年8月上旬 ～9月下旬	令和5年9月下旬 ～11月中旬
① 東京、立川、横浜、 さいたま、千葉、 大阪、京都、神戸、 奈良、大津、和歌山	集合修習	選択型実務修習
② ①以外の実務修習地	選択型実務修習	集合修習

第2 実務修習希望地の調査について

司法修習生の実務修習地は、司法研修所長が修習の全期間を通じて修習に関して司法修習生を統轄する立場から決定します。その際の参考とするために、実務修習地についての希望を承知したいので、要領第1の事項に留意の上、別添の「実務修習希望地調査書」に必要事項を記載し、提出してください。

なお、配属される予定の実務修習地は、令和4年10月14日（金）頃発送してお知らせする予定です。司法研修所から、同月21日（金）までにこの通知が届かない場合は、司法研修所事務局企画第二課調査係（048-460-2045）に電話で照会してください。

実務修習希望地調査書の記載に当たっては、次の点も理解しておいてください。

- 1 実務修習希望地調査書に希望地を記載してもらうのは、実務修習地を決定する際の参考とするためであり、希望どおりに決定されることを保証するものではありません（特定の実務修習地に希望者が集中した場合などには、希望どおりに決定されないことがあります。）。

- 2 実務修習地がどこであるかは、将来の進路に関し、何らの影響を及ぼすものではありません。
- 3 通知した実務修習地の変更は、認められません。
- 4 実務修習希望地調査書は、1のとおり実務修習地決定の参考とするほか、司法修習に関する事務のために利用することがあります。
- 5 採用選考の申込みを取り下げたときでも、実務修習希望地調査書は返還しません。

第3 身上報告書について

要領第2の事項に留意の上、別添の「身上報告書」に必要事項を記載して、同じものを2部提出してください。1部に記載した上でコピーを取るのでも差し支えありませんが、写真はそれぞれに貼付してください。

なお、採用選考の申込みを取り下げたときでも、身上報告書は返還しません。

第4 振込口座届出書について

修習中に支給される修習給付金を振り込むための口座を、要領第3の事項に留意の上、別添の「振込口座届出書」に必要事項を記載して提出してください。

なお、採用選考の申込みを取り下げたときでも、振込口座届出書は返還しません。

第5 導入修習期間中の入寮の申込みについて（希望者のみ）

上記第1記載のとおり、導入修習については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて司法研修所において実施されない可能性がありますが、導入修習が司法研修所において実施される場合において、導入修習期間中に入寮を希望する者は、要領第4の事項に留意の上、別添の「入寮許可願」に必要事項を記載し、提出してください。

なお、採用選考の申込みを取り下げたときでも、入寮許可願は返還しません。

おって、集合修習の期間中に入寮を希望する場合の入寮申込みについては、別途お知らせします。

提出書類一覧

申込者全員が提出する書類

提出書類	提出方法・提出期限	記載要領	問合せ先
実務修習希望地調査書		要領第1	
身上報告書（A4、片面 1枚）2部 写真（4cm×3cm）5枚 (5枚全ての裏面に、 氏名と生年月日を油性 ボールペンで記載し、 2枚は身上報告書に両 面テープで貼付し、残 り3枚は、インクによ って写真の表面が汚れ ないようにして、写真 用封筒に封入する。)	各自で用意した角形2号 の封筒の表面にダウンロ ードした宛名用紙(企画第 二課調査係宛)を、裏面に ダウンロードした差出人 用紙を印刷の上貼付し、 左記書類を一括して司法 研修所宛てに簡易書留郵 便で送付する。	要領第2	司法研修所事務局 企画第二課調査係 TEL 048-460-2045 (直通) (平日) 午前10:00～午前11:30 午後1:30～午後4:30
振込口座届出書	期限 9月13日(火) (消印有効)	要領第3	司法研修所事務局 経理課経理係 TEL 048-235-8973 (直通) (平日) 午前10:00～午前11:30 午後1:30～午後4:30

入寮希望者のみが提出する書類

提出書類	提出方法・提出期限	記載要領	問合せ先
入寮許可願	<p>各自で用意した長形3号の封筒の表面に、ダウンロードした入寮許可願用宛名用紙（総務課寮務係宛）を印刷したものを貼付し、左記書類を一括して簡易書留郵便で送付する。</p> <p>期限 9月13日(火) (消印有効)</p>	要領第4	<p>司法研修所(いづみ寮) 事務局総務課寮務係 TEL 048-235-8985 (直通) (平日) 午前10:00～午前11:30 午後1:30～午後4:30</p>
返信用封筒 (長形3号、宛名記載 、84円の郵券貼付)			

(要領第1)

実務修習希望地調査書<全員提出>

1 実務修習希望地調査書を1部作成し、提出する。

手書き又はデータ入力により作成する。

※ 右上の欄に、生年月日を数字化した整理番号を忘れずに記載すること。

2 ①欄には、氏名を戸籍等に基づいて正確に記載する（司法研修所においては、JIS 第2水準までの漢字を使用している。）。

②欄は、旧姓（戸籍上の旧氏名をいう。以下同じ。）の使用を希望する場合又は日本国籍を有しない方で通称の使用を希望する場合のみ、使用を希望する旧姓又は通称を記載する（旧姓又は通称の使用を希望しない場合、記載不要）。身上報告書への記載も忘れないこと。

3 ③欄には、特筆すべきことがなければ「良好又は問題なし」の項にチェックを入れ、既往症（現在は治療を終了しているが、過去に入院したり、半年以上通院治療を受けたりしたことがある場合）や治療継続中の病気・身体上の障害等がある場合には該当する項にチェックを入れ、具体的な病名等を記載する。

4 ④欄は、郵便物の送付先としても使用するので、読みやすい字で、方書まで正確に記載する。また、提出後に住所変更があった場合は、「令和4年度司法修習生採用選考申込書の記載要領」の記載に従い、必ず速やかに変更の届出を行うとともに、郵便局へ転居届を提出すること。

なお、作成時点で住所変更を予定している場合や住所とは別に郵便物の送付先の希望がある場合には、別途、転居日及び転居先住所や郵便物の送付先として指定する住所を記載した書面（整理番号及び氏名を必ず記載すること。）を作成し、同封すること。

5 ⑤欄は、いずれか1つ選択し、複数を選択しないこと。

6 ⑥欄及び⑧欄の出身大学名や法科大学院名等は、正確に記載する。

⑧欄には、修了の有無にかかわらず、在籍した法科大学院名を記載し、旧司法試験等の合格者は「旧司法試験」などと記載する。また、予備試験合格者は「予

備試験」の項にチェックを入れる。

7 ⑩欄は、次の点に留意して記載する。

令和4年度採用司法修習生の実務修習地は、次のとおり予定している。

1群 東京、立川、横浜、さいたま、千葉、宇都宮、静岡、甲府、大阪、
京都、神戸、大津、名古屋、福岡、仙台、札幌

2群 水戸、前橋、長野、新潟、奈良、和歌山、津、岐阜、金沢、広島、
岡山、熊本、那覇、福島、高松

3群 福井、富山、山口、鳥取、松江、佐賀、長崎、大分、鹿児島、宮崎、
山形、盛岡、秋田、青森、函館、旭川、釧路、徳島、高知、松山

- (1) 実務修習地について希望地がある場合は、第1希望地から第6希望地までの6箇所を表1「実務修習希望地の選択規則」に従い記載する。併せて、希望地に関して、配偶者（内縁の配偶者・修習終了までに婚姻する予定の婚約者を含む。）・子との同居希望、病気・通院、親族の介護、経済的事情等、実務修習希望地調査書の「理由コード」に該当する事情がある場合は、必ず、その理由となる理由コードの番号及び具体的な事情を記載する（1つの希望地の欄に複数の理由コードを記載してもよい。）。具体的な事情の記載については、表2「事情の記載例」及び別添の記載例を参考し、できる限り見やすく丁寧に記載すること。

なお、記載された事情や記載内容の具体性の程度によっては、実務修習地を検討する際の参考としないことがある。

(表1) 実務修習希望地の選択規則

第1希望	1～3群から記載	(注意) <u>(1群から選択るのは2箇所まで)</u>	
第2希望			
第3希望			
第4希望			
第5希望	<u>3群から記載</u>		
第6希望			

(表2) 事情の記載例

- ① 配偶者（内縁の配偶者・修習終了までに婚姻する予定の婚約者を含む。）・子との同居希望

理由コード	理由コードに該当する具体的な事情
1	現在、民間企業に勤務している妻及び〇歳の子と同居して生活しているところ、今後も同居を継続するため、現住所地から通える地を希望する。

- ② 病気・通院

理由コード	理由コードに該当する具体的な事情
2	〇〇病に罹患しており、現在月1回△△病院（□□県●●市）に通院して高度に専門性を有する治療を受けており、今後もその治療を継続する必要があるため、現住所地から通える地を希望する。

- ③ 親族の介護

理由コード	理由コードに該当する具体的な事情
3	現在同居中の父親が身体障害者（1級、介護認定・要介護5）で、母と私で入浴・食事等の介護を行っており、私がいないと介護に支障が生じるため、現住所地から通える地を希望する。

- ④ 経済的事情

理由コード	理由コードに該当する具体的な事情
4	法科大学院在学中の奨学金の返済額が1か月●万円（残高の総額●●●●万円）となっているので、現住所地（自宅）から通える地を希望する。

- (2) 実務修習地について特に希望地がない場合は、「希望地」欄に「一任」又は「以下一任」と記載し、理由は記載しなくてもよい（表3の記載例参照）。

(表3) 実務修習希望地の記載例

①全部記載の場合		②一部一任の場合		③全部一任の場合	
希望順位	希望地	希望順位	希望地	希望順位	希望地
1	東京	1	大阪	1	一任
2	さいたま	2	鳥取	2	
3	広島	3	以下一任	3	
4	和歌山	4		4	
5	高知	5		5	
6	松江	6		6	

- (3) 希望地の記載がない場合又は表1の実務修習希望地の選択規則に反した記載をしている場合は「一任」として、途中順位までの記載しかない場合には「以下一任」として取り扱う。

8 ⑫欄は、次の点に留意して記載する。

- (1) この欄に記載する「親族等」とは、配偶者（内縁の配偶者及び婚約者も含む。）、父母（義父母含む。）、兄弟姉妹、祖父母、伯父・伯母（叔父・叔母）、甥姪をいう。
- (2) 婚約者については、修習終了までに婚姻する予定かどうかを問わず、該当する場合には記載する。
- (3) 親族等が公証人、司法書士、調停委員、司法委員及び参与員である場合には、記載を要しない。
- (4) 親族等が現職の裁判官・検察官・弁護士である場合には、必ず勤務庁又は弁護士会名及び司法修習の期を記載する。親族等が司法修習生である場合には、当該修習生の就職予定地も必ず記載すること。

- (5) 親族等に採用選考申込者がいる場合にも、本欄に必ず記載する。
- (6) 親族等が裁判所・検察庁の職員である場合には、勤務する裁判所・検察庁の
府名及び役職を記載する（例：東京地方裁判所裁判所書記官、東京地方検察庁
主任検査官）。
- 9 ⑬欄には、本人、配偶者（内縁の配偶者及び修習終了までに婚姻する予定の婚
約者を含む。）、近親者、友人・知人等を当事者とする訴訟、調停等の係属（係
属見込みの場合を含む。）がある場合には、その係属裁判所及び当事者名（続
柄）を記載する。この調査書を提出した後に、上記事情（係属見込みの場合を
含む。）が生じた場合には、速やかに司法研修所事務局企画第二課調査係に連
絡すること。
- 10 ⑭欄には、配偶者（内縁の配偶者及び修習終了までに婚姻する予定の婚約者を
含む。）、子、親及び兄弟姉妹のほか、⑩欄の具体的な事情に記載した親族等が
あれば記載する。
- 11 各欄に記載しきれない場合には、⑮欄を利用する。
- 12 この調査書に訂正がある場合、二重線で抹消し、余白に正しい記載をする（訂
正印不要）。
- 13 この調査書の記載について疑問等があるときは、司法研修所事務局企画第二課
調査係に照会する。
- 14 提出方法は、4ページの「提出書類一覧」のとおりとする。

(要領第2)

身上報告書・写真<全員提出>

- 1 身上報告書（A4、片面印刷、1枚）を2部作成し、提出する。

記載例を参考にして、令和4年9月6日現在（ただし、年齢については全て同年11月27日現在で記載すること。）で作成する。手書き又はデータ入力により作成し、手書きの場合は、黒のペン又はボールペンを用い、楷書で正確に記載する。

なお、同じ内容のものを2部作成するか、1部に所定の事項を記載した上で1部コピーを取る方法により2部作成しても差し支えない。

(1) ※印の欄には記載しない。

(2) 「氏名」欄には、氏名を戸籍等に基づいて正確に記載する（司法研修所においては、JIS第2水準までの漢字を使用している。）。

「旧姓又は通称」欄には、旧姓の使用を希望する場合又は日本国籍を有しない方で通称の使用を希望する場合のみ、使用を希望する旧姓又は通称を記載する（旧姓又は通称の使用を希望しない場合、記載不要）。実務修習希望地調査書への記載も忘れないこと。

(3) 「現住所」欄は、住民票上の住所にかかわらず、現在の住所を記載すること。「緊急連絡先」は、本人以外で本人と容易に連絡を取れる親族等の連絡先を記載し、同居・別居の別をチェックする。

なお、現住所と郵便物の送付先が異なる場合や住所変更を予定している場合に提出すべき書面は、（要領第1）4記載のとおりである（備考欄を使用しないこと）。

(4) 「本籍」欄は、都道府県のみ記載する。外国籍の者は、国籍を記載する。

(5) 「経歴」欄は、学歴について、高等学校（卒業）から年代順に記載する。在学中であれば、修了（卒業）・中退の見込み時期とともにその旨を記載し、法科大学院の場合は、「経歴」欄下部の見込みの項にもチェックする。兼学許可申請を予定している場合は、備考欄にその旨を記載すること。

また、法科大学院については、修了・在学中・中退の別、修了の有無にかかわらず既修・未修コースの別をそれぞれチェックし、予備試験合格者は予備試験の項を、旧司法試験合格者等はその他の項をチェックして、括弧内に内容を記載する。

なお、職歴については、6か月以上のものを記載する。

- (6) 「現在の健康状態等」欄は、特筆すべきことがなければ「良好」と記載し、治療継続中の病気や身体上の障害がある場合には具体的な病名等を記載する。
「過去の病歴」欄は、既往症がある場合に記載すること。
- (7) 「健康上の配慮等」欄は、司法修習中に健康上の理由による配慮（パソコンによる答案作成、答案作成時間の延長、教室の座席配置、多目的トイレや授乳室の使用等）を必要とする場合に具体的な内容及び理由を記載する。
なお、司法試験において身体に障害や傷病等がある場合の受験特別措置を受けた場合には措置の内容を記載する。
- (8) 「志望」欄は、いずれか1つ選択し、複数を選択しない。
- (9) 「家族関係」欄は、配偶者、子、親、兄弟姉妹を記載する。「扶養関係」は本人が扶養している家族を○印で表示すること。
- (10) 各欄に記載しきれない場合には「備考」欄を使用し、裏面には記載しない。
- (11) 記載を間違えたときは、二重線で抹消し、余白に正しい記載をする（訂正印不要）。
- (12) 提出後に記載事項に変更が生じた場合には、司法研修所事務局企画第二課調査係に速やかに適宜の書面にて届け出る。

2 写真5枚を提出する。

カラー写真で、縦4センチメートル、横3センチメートル、上半身、脱帽、正面、無背景で3か月以内に撮影したものに限る。裏面に氏名と生年月日を油性ボールペンで記載し、うち2枚は身上報告書の所定の箇所に両面テープで貼付し（必ず、点線の枠にかかるないように決められた大きさの写真を貼付する。）、残りの3枚は、写真裏面の氏名を記載したインクによって写真の表面が汚れない

ようにして、各自で用意した封筒（長形4号）にダウンロードした写真用封筒の表書を貼付して作成した適宜の封筒を利用し、必要事項を記載して封入する（写真用封筒は封緘すること）。

3 提出方法は、4ページの「提出書類一覧」のとおりとする。

(要領第3)

振込口座届出書<全員提出>

1 修習給付金（基本給付金、住居給付金及び移転給付金）は、司法修習生本人の名義の口座に振り込む方法により支給する。

振込口座届出書には本人名義の口座（旧姓及び通称の口座は不可）を記載し、氏名のフリガナは金融機関に届け出たフリガナを記載する。

2 複数の口座を指定することはできない。

3 振込を確実に行う必要があることから、やむを得ない事情がある場合を除き、振込口座の変更は控える。

なお、改姓、銀行の統廃合など、届出内容に変更が生じる場合には、振込口座の名義等を変更する前に下記7の司法研修所事務局経理課経理係に連絡する。

4 ゆうちょ銀行の通帳には、「記号・番号」と「店番・口座番号」の2種類が記載されているが、「記号・番号」（5桁・8桁）を記載する。

5 振込口座届出書により提供を受けた個人情報は、修習給付金の支給に関する事務を実施する目的のため、当該事務の委託を受けた者に提供することがある。

6 振込口座として指定できる金融機関は、日本国内の都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、労働金庫、ゆうちょ銀行、信託銀行、信用組合、農業協同組合等である。

なお、次の金融機関には振込できない。※令和4年5月6日現在

セブン銀行、auじぶん銀行、大和ネクスト銀行、みんなの銀行、U I銀行、ニューヨークメロン信託銀行、スタンダードチャータード銀行、バークレイズ銀行、クレディ・アグリコル銀行、兆豊國際商業銀行、バンクネガラインドネシア、オーバーシー・チャイニーズ銀行、ユバフーアラブ・フランス連合銀行、D B S銀行、コメルツ銀行、ウリィ銀行、オーストラリア・コモンウェルス銀行、ステート・ストリート銀行

7 振込口座届出書の記載について疑問等があるときは、司法研修所事務局経理課経理係（048-235-8973）に照会する。

(要領第4)

入寮許可願<希望者のみ提出>

1 寮及び遵守事項

寮は、いずみ寮及びひかり寮の利用を予定している。

寮の利用方法等は、別紙「司法研修所司法修習生在寮準則」のとおりである。

寮には、多くの入寮者が生活することになるので、上記準則及びこれに基づき定められる共同生活及び新型コロナウイルス感染防止対策上のルール（自室以外の寮室への立入禁止、共用室の使用禁止等。別途周知予定。）を遵守しなければならない。これに違反したときは、退寮を命じられることがある。

2 入寮許可願の記入及び提出

入寮希望者は、別添の「入寮許可願」に所要事項を記載し、提出する。

- (1) 年齢は作成日を基準に記載すること。
- (2) 通所できない事情がある場合は、その理由をできるだけ詳しく記載すること。
- (3) 入寮許可願に虚偽の記載をした場合は、処分等を受けることがある。
- (4) 提出期限までに入寮許可願が提出されないとときは、入寮は許可されないで注意すること。

3 入寮許可決定及びその通知

入寮希望者が収容可能人数を超える場合、入寮を必要とする事情を総合的に考慮して入寮の許否を判断するが、原則として、以下の順位で割り当てる。

- (1) 通所圏内に住居を有しない者
- (2) 現住所の住居又は自宅（実家を含む。）等の所在地から司法研修所までの通所時間の長い者（なお、抽選の方法を用いて決定する場合がある。）

ただし、導入修習期間中の入寮については、例年、入寮希望者が多数に及ぶことから、実務修習地が東京、立川、さいたまとなる者は、各実務修習地に住居を有するものとみなして取り扱う。

入寮許可願を提出した者に対しては、その入寮の許否通知を10月21日

（金）頃に、提出された返信用封筒を利用して発送する。

4 寮室の割当て

寮室の割当ては司法研修所が行う。割り当てられた寮室を司法修習生同士で交換することは認められず、これに違反したときは、退寮を命じられることがある。

5 入寮日及び退寮日

入寮日は、11月29日（火）とする。その日より前に寮に到着しても宿泊することはできない。入寮手続は、当日の午前11時から午後4時までの間に行う。

退寮日は、12月24日（土）とする。退寮手続は、当日の午前8時30分から午後5時までの間に行う。

なお、これらは今後変更があり得る。

6 寮費

入寮を許可された者は、入寮期間中の寮費を負担する。

入寮を許可された者の寮費は、15,000円（1日につき600円）であり、入寮許可通知書に同封された払込取扱票に住所、氏名等の必要事項を記載の上、期限内に所定の口座に振り込む。

7 提出方法

提出方法は、5ページの「提出書類一覧」のとおりとする。

(別紙)

司法研修所司法修習生在寮準則

平成6年2月9日制定

平成29年10月24日改正

裁判所の庁舎等の管理に関する規程（昭和43年最高裁判所規程第4号）第2条第4項の委任に基づき、同規程第19条によって司法研修所司法修習生在寮準則を次のとおり定める。

第1条 この準則は、司法研修所いづみ寮及びひかり寮（以下併せて「寮」という。）を、司法修習生の修習の滞在の用に供するに当たって、寮の管理について必要な事項を定めるものとする。

第2条 入寮を希望する司法修習生は、入寮許可願を提出して、許可を受けなければならぬ。

第3条 入寮の許可を受けた司法修習生（以下「在寮者」という。）は、入寮の目的を達成するため、寮における秩序を維持し、適切な環境を保持するよう協力しなければならない。

2 在寮者は、入寮の目的を尊重し、他人の勉学、就寝を妨げ、その他他人の迷惑となる行為をしてはならない。

第4条 在寮者は、門限までに帰寮しなければならない。

2 在寮者は、来訪者がある場合には、門限までに退出させなければならない。

第5条 在寮者は、会合等のため寮を使用する場合又は寮において文書等を掲示する場合には、その都度あらかじめ許可を受けなければならない。

第6条 在寮者は、常に防火に注意し、所定の場所以外で火気の使用又は喫煙をしてはならない。

2 火災その他の災害に際しては、消防及び避難に協力しなければならない。

第7条 在寮者は、その責に帰すべき事由により、建物、付属設備、備品等を毀損し、又は滅失させたときは、これを現状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

第8条 在寮者は、寮係員が建物、付属設備、備品等の管理のため寮室に立ち入る必要があるときは、これに協力しなければならない。

第9条 この準則若しくは第10条に基づき別に定める細則に違反したとき、又は寮の管理上やむを得ない事由があるときは、退寮させることができる。

第10条 この準則の施行についての細則は、別に定める。

実務修習希望地調査書 記載例

①の氏名は、戸籍等に基づいて正確に記載してください（司法研修所においては、JIS第2水準までの漢字を使用している。）。②は旧姓（戸籍上の旧氏名）の使用を希望する場合又は日本国籍を有しない方で通称の使用を希望する場合のみ記載してください。
令和4年1月27日までに氏名を変更した場合は、変更事項を記載した適宜の書面及び変更事項を証明する書面として「戸籍抄（謄本）」（司法研修所に提出する分については、写しで構わない。）を司法研修所事務局企画第二課調査係及び最高裁判所に速やかに提出してください。

⑤～⑨の記載漏れがないように気を付けてください。
⑥には卒業した大学名を、⑧については、修了の有無にかかわらず、在籍した法科大学院名を記載し、旧司法試験等の合格者は「旧司法試験」などと記載してください。また、予備試験合格者は「予備試験」の項目にチェックを入れてください。

希望順位の1～4は、1群から3群の全ての修習地の中から希望する修習地を選んで記載してください。
希望地の記載がない場合は「一任」として、途中順位までの記載しかない場合には「以下一任」として取り扱います。
1群の修習地（この中から選択するのは2箇所まで）
東京、立川、横浜、さいたま、千葉、宇都宮、静岡、甲府、大阪、京都、神戸、大津、名古屋、福岡、仙台、札幌
2群の修習地
水戸、前橋、長野、新潟、奈良、和歌山、津、岐阜、金沢、広島、岡山、熊本、那覇、福島、高松

希望順位の5・6は、必ず3群の修習地から選んで記載してください。
3群の修習地
福井、富山、山口、鳥取、松江、佐賀、長崎、大分、鹿児島、宮崎、山形、盛岡、秋田、青森、函館、旭川、釧路、徳島、高知、松山

⑪欄に、過去5年間（平成29年から令和4年まで）勤務した庁名を記載するとともに在籍していた期間も記載してください（記載例参照）。

⑫欄に記載する「親族等」とは、配偶者（内縁の配偶者及び婚約者も含む。）、父（義父母含む。）、兄弟姉妹、祖父母、伯父・伯母（叔父・叔母）、甥姪をいいます。
・婚約者については、修習終了までに婚姻する予定かどうかを問わず、該当する場合には記載してください。
・親族等が公証人、司法書士、調停委員、司法委員及び參與員である場合には、記載は不要です。
・親族等が現職の裁判官・検察官・弁護士又は司法修習生である場合には、勤務所又は弁護士会名のほか、必ず司法修習の期を記載してください。親族等が司法修習生である場合には、司法修習期のほか当該修習生の就職予定地を必ず記載してください（記載例参照）。
・親族等に採用選考申込者がいる場合にも、本欄に記載してください。
・親族等が裁判所・検察庁の職員である場合には、勤務する裁判所・検察庁の庁名及び役職を記載してください（例：東京地方裁判所裁判所書記官、東京地方検察庁主任検察官）。

実務修習希望地調査書 (令和4年9月6日現在)			整理番号	0 4 0 4 2 4
			生年月日を数字化したものを記載すること。 例：昭63.4.24生→630424 平成元年2月10日生まれの場合は『010210』	
<p>① 氏名 最高太郎 <input checked="" type="checkbox"/>男 昭和 4年 4月 24 日生 <input type="checkbox"/>女 平成 (令和4年1月27日現在 30歳) ④ 現住所 郵便番号 (100-0013) 東京都千代田区霞が関1-1-4 第一マンション331号</p> <p>※郵便物の送付先としても使用するので正確に記載すること。</p> <p>⑤ 志望 (いずれか1つ選択し、複数を選択しないこと。) <input type="checkbox"/>裁判官 <input checked="" type="checkbox"/>検察官 <input checked="" type="checkbox"/>弁護士 <input type="checkbox"/>未定 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>⑥ 出身大学 ○○大学 ⑦ 法学部出身の有無 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無 ○○大学法科大学院 ⑧ 法科大学院等 <input checked="" type="checkbox"/>予備試験 ⑨ 既修・未修の別 <input type="checkbox"/>既修 <input checked="" type="checkbox"/>未修</p>			<p>② 旧姓又は通称 (使用希望者のみ記載) (自身報告書にも記載する) <input type="checkbox"/>良好又は問題なし <input checked="" type="checkbox"/>既往症 睡眠障害(平成28年5月～12月・服薬により完治) <input checked="" type="checkbox"/>治療中の病気・身体上の障害等 気管支ぜんそく</p> <p>⑩ 希望順位 希望地 理由コード 1 さいたま 1、2 理由コード1の事情 婚約者(氏名は⑩に記入)があり、本年1月20日に婚姻する予定であり、同日以後、相手方住所で同居予定である。 2 東京 3、2 理由コード2の事情 現在、矯正歯科治療中であり、月1回△△歯科医院(和光市)に通院して高度に専門性を有する治療を継続する必要があるため、現住所地から通える地を希望する。 3 岐阜 理由コード3の事情 現在同居中の祖母が身体障害者(1級、介護認定・要介護5)で、母、私で入浴・食事等の介護を行っており、私がいないと介護に支障が生じるため、現住所地から通える地を希望する。 </p> <p>理由 1 配偶者(内縁の配偶者・修習終了までに婚姻する予定の婚約者を含む。)・子との同居希望 2 病気・通院 3 親族の介護 4 経済的事情 5 その他 コード ☆ 希望理由のない場合、理由コード等は記載不要</p> <p>⑪ 裁判所・検察庁職員である場合又は過去に職員であった場合の過去5年間の勤務地 ○○地方裁判所 (平成29年1月1日～平成31年3月31日)</p> <p>⑫ 現職の裁判官・検察官・弁護士又は司法修習生(採用選考申込者を含む。)若しくは裁判所・検察庁の職員である親族等 統柄 氏名 勤務所又は弁護士会名 司法修習期 伯父 司法二郎 ○○弁護士会 ○○期 婦 紹介者 和泉ひかり 司法修習生(埼玉弁護士会登録予定) 75期 姉 湯島優子 採用選考申込者 (当事者名(統柄)) 最高一郎(実父)</p> <p>⑬ 家族及び⑩の具体的な事情に記載した親族等(実務修習地に同伴する家族には「同伴」欄に○をすること。) 氏名 年齢 統柄 職業 同伴 現住所 最高一郎 62 父 会社員 同上 埼玉県和光市南二丁目3番8号 リ 花子 60 母 主婦 同上 リ 梅子 85 祖母 無職 同上 湯島優子 34 姉 採用選考申込者 123 Abc Street Xyz City MJ 01930 USA 和泉ひかり 28 婦 紹介者 司法修習生 埼玉県○○市○○四丁目2番</p> <p>⑭ 備考</p>	
<p>⑩欄に特筆すべきことがなければ「良好又は問題なし」の項目にチェックを入れ、既往症や治療継続中の病気・身体上の障害等がある場合には該当する項目にチェックを入れ、下欄に具体的な病名等を記載してください。</p> <p>⑪欄に記載する住所は、修習開始前までの郵便物(修習地の予定通知、組・番号・修習班の通知、教材等の発送等)の送付先の住所となりますので、令和4年1月27日までに住所変更等が生じた場合は、変更事項を記載した適宜の書面(修習地決定後は、修習地も記載する。)を司法研修所事務局企画第二課調査係及び最高裁判所に速やかに提出してください。 なお、住所を変更した場合には、必ず郵便局へ転居届を提出してください。</p> <p>【具体的な事情の記載内容について】</p> <p>○ 配偶者等との同居希望の場合 例「現在、民間企業に勤務している妻及び○歳の子と同居して生活しているところ、今後も同居を継続するため、現住所地から通える地を希望する。」 ※ 婚約者については、修習開始前から修習終了までの間に具体的に婚姻(入籍)の予定がある場合は、その時期についても記載してください。(記載例参照。婚約者の氏名は、⑩欄にも必ず記載すること。)</p> <p>○ 病気等の場合 例「○○病に罹患しており、現在月1回△△病院(□□県●●市)に通院して高度に専門性を有する治療を受けており、今後もその治療を継続する必要があるため、現住所地から通える地を希望する。」 ※ 具体的な病名、通院先の病院名(所在地)及び現在の状況についても記載してください。</p> <p>○ 親族の介護の場合 ※ 介護を必要とする方及びその現在の状況、介護の態勢について具体的に記載してください。(記載例参照)</p> <p>○ 経済的事情の場合 例「法科大学院在学中の奨学金の返済額が1か月●●万円(残高の総額●●●万円)となっているので、現住所地(自宅)から通える地を希望する。」 ※ 1つの希望地の欄に複数の理由コードを併記しても構いません。 ※ 事情の記載欄が足りない場合は、⑮の備考欄を使用してください。</p> <p>本人、配偶者(内縁の配偶者及び修習終了までに婚姻する予定の婚約者も含む。)、近親者、友人・知人等を当事者とする訴訟、調停等の係属(係属見込みの場合は含む。)がある場合は、係属裁判所及び当事者名(統柄)を⑩欄に記載してください。提出した後に、上記事情(係属見込みの場合も含む。)が生じた場合は、速やかに司法研修所事務局企画第二課調査係に連絡してください。</p> <p>⑪欄には、家族(配偶者(内縁の配偶者及び修習終了までに婚姻する予定の婚約者も含む。)、子、親及び兄弟姉妹)のほか、⑩の具体的な事情欄に記載した親族等の氏名・年齢・統柄・職業・現住所を記載してください。 記載に当たっては、令和4年9月6日現在(年齢については、同年1月27日現在)で記載してください。</p> <p>各欄に記載しきれない場合には、この欄を利用してください。</p>				

※該当する□にレを付する。

身上報告書 記載例

〈全員提出〉

写真貼付 ☆写真の裏面に氏名を油性ボールペンで必ず記載する(5枚全て) ※点線の枠にかかるないように決められた大きさ(4cm×3cm)の写真を両面テープで貼付する。		身上報告書 76 (令和4年9月6日現在)					
		ふりがな 氏名	さいこう 最高 太郎	ふりがな 旧姓又は 通称	使用希望者のみ記載		※組・番号
		生年月日 年齢	昭和 4年 4月 24日生 <small>平成 満30歳(令和4年1月27日現在)</small>	性別	男	※実務修習地	
現 住 所	東京都千代田区霞が関1-1-4 第一マンション331号			本籍	東京都		
電話	03 (XXXX) XXXX			e-mail	XXXX@XXXX.XX, XX		
携帯電話	090 (XXXX) XXXX			緊急連絡先	048 (XXXX) XXXX 最高月子 方 (続柄 叔母) (□同居 <input checked="" type="checkbox"/> 別居)		
経 歴	学歴 昭和・平成23年3月 東京都立〇〇高校卒業 平成23年4月 〇〇大学法学部法律学科入学 平成27年3月 同大学同学部同学科卒業 平成31年4月 〇〇大学法科大学院入学 令和4年3月 同法科大学院修了			職歴 平成27年4月 7ヶ月(家庭教師) <small>～平成28年3月</small> 平成28年4月 〇〇地方裁判所入所 <small>～平成31年3月</small> 〇〇地方裁判所退職 <small>～令和2年4月</small> <small>～令和4年10月</small> 7ヶ月(〇〇塾)			
	1 法科大学院 (1) <input checked="" type="checkbox"/> 修了 □在学中 □中退 (□見込み) (2) コースの別 □既修 <input checked="" type="checkbox"/> 未修			司法試験合格年月日 平成・令和 4年9月6日			
	2 <input checked="" type="checkbox"/> 予備試験 □その他 ()						
現在の健康状態等	気管支ぜんそく		過去の病歴	睡眠障害 (平成28年)			
健康上の配慮等							
自己の性格及び気質							
趣味・嗜好 (たばこを除く)	旅行、スポーツ観戦、日本酒		資格及び技能等	普通自動車免許、行政書士(登録無)			
たばこ	吸う・吸わない		志望	裁・検 <input checked="" type="checkbox"/> 未定・その他()			
家 族 関 係	氏名	年齢	続柄	扶養 関係	職業	現住所	
	最高一郎	62	父		会社員	埼玉県和光市南2-3-8	
	〃 花子	60	母		主婦	〃	
	湯島 優子	34	姉	<input checked="" type="checkbox"/> 採用選考申込者	123 Abc Street Xyz City	<small>※以下備考欄</small>	
備 考	※MJ 01930 USA						

この身上報告書は、司法研修所が司法修習に関する事務（裁判所法14条）のために使用するほか、高等・地方裁判所、高等・地方検察庁、弁護士会における実務修習（選択型実務修習を含む。）及び実務修習中の監督に関する事務（司法修習生に関する規則7、8条）のために使用する。

- ・写真貼付について
1部コピーを取る場合でも、2部とも写真を貼付すること。
- ・「氏名」欄について
氏名を戸籍等に基づいて正確に記載すること（司法研修所においては、JIS第2水準までの漢字を使用している。）。
 - ・「旧姓又は通称」欄について
この欄は、旧姓又は通称の使用希望者のみが記載すること。
- ・「現住所」欄について
住民票上の住所にかかわらず、現在の住所を記載し、緊急連絡先は、本人以外で本人と容易に連絡を取れる親族等の連絡先を記載し、同居・別居の別をチェックすること。
- ・学歴について
学歴については、高等学校（卒業）から年代順に記載する。在学中であれば、修了（卒業）・中退の見込み時期とともにその旨を記載し、法科大学院の場合は、経歴欄1(1)の見込みの項にもチェックする。兼学許可申請を予定している場合は、備考欄にその旨を記載すること。
また、経歴欄の下部について、1の(1)は法科大学院の修了・在学中・中退の別を、同(2)は修了の有無にかかわらず、既修・未修コースの別をそれぞれチェックし、2は予備試験に合格した者は予備試験の項を、旧司法試験合格者等はその他の項をチェックして、括弧内に内容を記載する（「旧司法試験」など）。
- ・職歴について
職歴が6か月以上のものを記載すること。
- ・現在の健康状態等について
特筆すべきことがなければ「良好」と記載し、治療継続中の病気や身体上の障害がある場合には具体的な病名等を記載すること。
- ・健康上の配慮等について
司法修習中に健康上の理由による配慮（パソコンによる答案作成、答案作成時間の延長、教室の座席配置、多目的トイレや搾乳室の使用等）を必要とする場合には具体的な内容及び理由を記載すること。
なお、司法試験において身体に障害や傷病等がある場合の受験特別措置を受けた場合には措置の内容を記載する。
- ・「自己の性格及び気質」欄について
なるべく詳しく記載すること。
- ・「志望」欄について
いずれか1つ選択し、複数を選択しないこと。その他の場合は、その職業を記載すること。
- ・「家族関係」欄について
配偶者、子、親、兄弟姉妹を記載し、「扶養関係」は本人が扶養している家族を○印で表示する。
年齢は、令和4年1月27日現在で記載すること。